

# ナバナ出荷ピーク

夏の天候不順も  
例年並みの量に

三重・JA伊勢

【三重・伊勢】JA

伊勢で2月上旬、「三

重なばな」の出荷が最も盛期を迎えた。5日には、JA玉城集出荷場でJA職員らが、持ち込まれた「三重なばな」が規格に沿ってい

るかなどを確認していた。

JA担当者は「本年度産は、夏の高温と台風の影響で播種（はしゅ）が遅れたが、順調に生育した。現在は、例年並みの量を出荷できている」と話す。

JAでは、組合員41人が約2・2畝で「三重なばな」を栽培・出荷している。出荷は3月下旬まで続く。県内や名古屋の市場へ、約6万袋の出荷を見込む。



「三重なばな」の検品作業を行うJA職員